



太鼓台の刺繍飾り幕に用いられる伝統技術「縫箔製作」を市の指定無形文化財に、その技術を体得されている縫師の高橋直孝さん（川之江町）を技術保持者に認定しました。4月19日に行われた交付式で高橋さんは「更なる高みを目指すとともに、後継の育成に取り組みたい」と話されました。

「縫箔製作」を市の無形文化財に指定 高橋直孝さんを技術保持者に認定



昨年3月に本市に多額の企業版ふるさと納税をされた美須賀海運株式会社（岩井正実代表取締役社長・写真右）が紺綬褒章を受章されました。4月15日に市役所で行われた伝達式で岩井社長は、「子育て支援や若者の定住対策に貢献できればと寄付しました」と、まちの持続的な発展に期待を寄せました。

地域活性化に貢献 美須賀海運(株)に紺綬褒章



4月30日、国際ソロプチミストイースト愛媛（井原則子会長・写真中央右）から公園遊具が寄贈されました。同団体による遊具の寄贈は今回で2回目。寄贈していただいた遊具「ちびっこマウンテン」は、森と湖畔の公園（金田町半田）に8月下旬に設置される予定です。ぜひ遊びに来てください。

子どもたちの笑顔のために ソロプチミストイースト愛媛が公園遊具寄贈



4月23日、土居町土居で農機具の販売・修理業を営む脇農機（脇貴光代表・写真左）から折り畳み式水タンク10基が寄贈されました。贈呈式で脇代表は「どんな災害であっても水は必ず必要になる。今後もまちの防災に役立つことを続けていきたい」と、継続的な支援に意欲を示されました。

もしもに備えて 脇農機が折り畳み式水タンク寄贈



4月13日、伊予三島運動公園体育館で市発足20周年と市バスケットボール協会20周年を記念したイベント「SHIKOKUCHU CITY」が開催されました。バスケットボールの更なる振興を図ろうと市バスケットボール協会（大尾浩二会長）が企画した今回のイベント。昨年の全国高等学校バスケットボール選手権大会を制した福岡第一高校やインターハイベスト8の尽誠学園、県大会優勝の地元土居中学校などによるハイレベルな試合を観戦するため市内外から2500人が訪れるなど、記念すべき節目の年のオープニングイベントは大盛況でした。

節目の年のオープニングを バスケットボールが彩る



また、庁舎玄関前には、ミツマタを紹介するプレートも設置します。市役所にお越しの際は、市の花ミツマタをぜひご覧ください。



オリジナルコースター



今年2月、市発足20周年を記念して「ミツマタの花」を市の花に、「五葉松」を市の木に制定しました。5月2日には、庁舎玄関前の花壇でミツマタの植樹式が行われ、篠原市長らが若木6本を植樹しました。植樹式では、篠原市長から市民を代表して篠永市議会議長と、ミツマタを用いた和紙を製造している多羅富来和紙の大西満王代表にミツマタの花と五葉松をあしらったオリジナルコースターが贈られました。このオリジナルコースターは、市の花と木をより多くの人に知っていただき、そして親しんでいただくために制作したもので、今後20周年記念イベントなどで配布する予定です。

市の花と木を身近に 庁舎前にミツマタを植樹

あの日の自分に会いにいく こどもフェスタでタイムカプセル展示



今年のこどもフェスティバルでは、平成12年に埋めたタイムカプセルを展示。あれから24年、当時6年生だった子どもたちも大人になり、中には子どもを連れて中身を受け取りに来た人もいました。



こどもの日の5月5日、旧三島町財産管理委員会（三谷つむぎ会長・写真前列中央右）からみしま児童センター（三島中央）に、すべり台やブランコなどが寄贈されました。この日同センターでは、「こどもフェスティバル」を開催。贈られた遊具は、会場を訪れた多くの子どもたちに好評でした。

こどもの日に素敵なプレゼント 旧三島町財産管理委員会が遊具寄贈



4月27日、本市出身のドラマー堤宏文さんと「ストリートフラッシュスペシャルバンド」によるジャズコンサートがしこちゅーホールでありました。誕生日を翌日に控えた堤さん。「82歳最後の日に、ふるさとで演奏できることに感謝しています」と話すと、観客から祝福の拍手が送られました。

故郷にジャズの調べを 堤宏文さんらによるコンサート



4月21日、翠波高原で「菜の花まつり」がありました。雨上がりでコントラストが高まった菜の花畑に、朝早くから多くの行楽客が訪れました。会場の特設ステージでは、フラダンスやアコースティックライブ、またけん玉ワークショップなどもあり、訪れた人の笑顔が春の高原に彩りを添えていました。

春の高原に笑顔咲く 菜の花まつり開催



伊予三島リトルシニアが 硬式野球の四国大会で準優勝！

4月6日から8日にかけて、坊っちゃんスタジアム（松山市）などで開催された「第15回少年硬式野球四国選手権大会」で、「伊予三島リトルシニア」が準優勝に輝きました。今大会には四国各県から41チームが出場。強豪ひしめく中、順当に決勝戦に進めましました。惜しくも優勝は逃しましたが、過去最高となる準優勝の成績を収めました。主将の野村銀児さん（三島東中3年・写真前列中央左）は、「練習量と内容には自信があります。次は優勝します！」と次の大会への意気込みを話してくれました。同チームの更なる飛躍が期待されます。

4月28日には、書道パフォーマンス甲子園アンバサダーの青柳美扇さんによるオーブンダクトがあり、郷土の歴史や文化、自然をたくさんの人に伝え、広めていくという暁雨館の使命を表した「伝承」の二文字を音楽に乗せてダイナミックに揮毫しました。



ちよつとそこま 広報 SAMPO 祝 開館 20周年 暁雨館で 書の企画展

市長の ひとりごと 次の世代のために!!



四国中央市長 篠原 実

「今年はダムの底水を活用して、凌がねばならないね」と担当部署と覚悟していたのですが、普通渇水期の春先に、神様がお情けをくれたように降雨があり、何とかかなりそうな気配であります。疏水まつりとして、ダムの水に感謝と先人のご努力に敬意を払っていたら、上相の方々が、妻島土地改良区の方々をはじめ、コップ一杯の水から節水にご努力いただいている市民の皆さまに感謝であります。

先の四国中央市発足20周年という式典も、その会場がかつてのため池でありました。井原巧初代市長のご苦労や関係者のご協力を思い浮かべ、式典の進行を聞きながら、感無量の面持ちでありました。

井原先生から篠原へと引き継いで、四国中央市もおかげさまで20

年という節目を迎えることができました。ありがとうございます。私も自分の念願であった権腐10年という希望を、何とか大した混乱なく勇退するという花道があれ、ばいばい、苦しい時も歌にもならない歌詞を歌いながら毎日を必死の形相でこなしていたのだが、まわりの家族を含め職員の皆さまや、利害が絡んだ関係者の方々に、は、相当嫌な思いで眺めていただろうな、と思っております。

残任期間がありますので、最後まで能う限りの能力と努力を結集して次の世代のためにがんばります。

人生一歩先、何が起こるかも知れません。まず目の前の一歩を踏みしめながら精進します。こけたら痛いし怪我でもしたら大変だしね。



きれいな川で大きくなってね 園児たちが稚鮎を放流

5月9日、金生川と銅山川で稚鮎の放流事業があり、市内の幼稚園や保育園などから園児約250人が参加しました。市発足20周年を記念して、今年は例年より2千匹増の2万2千匹を放流。放流した稚鮎が元気に泳ぐ姿を見た園児たちは、声をかけたり手を振ったりしていました。（写真は金生川）



地産地消を楽しく知ろう 児童らが学校給食米の田植えを体験

4月27日、今年も学校給食米の田植え体験会が土居町蕨崎の則友祝幸さんの田んぼであり、多くの親子連れが参加しました。直前までの雨で、いつにも増して冷たくなった田んぼの水。初めは恐る恐る足を踏み入れていた参加者たちも次第に慣れ、楽しそうな笑顔が水面に映り込んでいました。



世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 西日本決勝大会 優勝!!

2024IMGA 世界ジュニアゴルフ選手権 (米カリフォルニア州サンディエゴ) 日本代表で出場決定！



川之江小学校5年の藤原諒星さん（レオマ高原ゴルフ倶楽部所属）が3月に滋賀県で開催された世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会西日本決勝大会に出場し、9・10歳の部男子で見事優勝。7月にアメリカ合衆国で開催される世界大会への出場を決めました。

5月8日に篠原市長を表敬訪問し、日本代表に選抜されたことを報告した藤原さん。「世界大会でも優勝できるようにこれからも努力を続けていきます」と抱負を述べました。藤原さんは、父・和彦さんと一緒に打ちっぱなしに行ったことをきっかけに4歳からゴルフを始め、現在も二人三脚で練習に励んでいます。憧れの松山英樹選手のように、世界で活躍することが期待されます。

日頃の感謝の気持ちを込めて 園児たちが篠原市長を表敬訪問



認定こども園三島幼稚園では、毎年5月8日に「お花まつり」を開催し、鼓隊演奏やパレードなどで地域との交流を深め、お互いを思いやる心を育んでいます。この日は、同園の年長児12人が篠原市長を表敬訪問し、お花まつりの報告と篠原市長への日頃の感謝の気持ちを伝え、花束と甘茶を贈呈しました。